

逗子市総合計画 進化管理表 第4節

柱	第4節 安全で安心な、快適な暮らしを支えるまち							
めざすべきまちの姿	わたしたちは、逗子が持つ豊かな自然環境やコミュニティの質の高いまちを未来に継承していきます。 そのため、土地利用の基本方針を尊重し、社会ニーズを的確にとらえ、長期的な視点に立った都市のデザインを描いて、計画的なまちづくりを進め、誰もが安全で安心して快適に暮らせるまちをめざします。							
目標	安全で安心な、快適な暮らしを支えるまちをめざす市の取り組みに満足している人の割合が10ポイント増加している。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
未実施	57.7%	(59.4%)	(61.1%)	(62.8%)	(64.5%)	(66.1%)	(67.7%)	67.7%
進捗状況評価								
—								

取り組みの方向	1 良好な住環境の形成により、くつろぎが生まれるまち
土地利用の基本方針にうたわれた理念の実現を図るため、逗子が潜在的に持つ優れた価値と原風景を再認識し、大局的長期的視点に立ち、住む人にも訪れる人にも優しく、にぎわいとくつろぎ、そして安らぎが生まれる人間らしいスケールのまちをめざします。 基本的に低層のまち並みの形成を基盤とする中で、地域ごとの整備方針に基づき、地域のまちづくりを進めます。	

具体的施策	① 計画的なまちづくりの推進							
KPI	市を取り巻く環境の変化による条例運用上の課題等に早急に対応するため、3年ごとに土地利用に係る3条例等の見直しを行う。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
令和2年8月 まちづくり条例施行規則の改正	令和6年3月 まちづくり条例、 施行規則の改正							3年ごとに見直す
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
都市計画マスタープランとの整合性を図り、市民参加のまちづくり制度の改正を行った。								
今後の対応								
市民によるまちづくりに関するルールづくりの支援を行う。								

主 な 取 り 組 み

取り組み①	計画的なまちづくり推進事業の推進	総合戦略	4-1-③-2
説明	・まちづくり条例を運用するとともに、市民の主体的なまちづくりの取り組みを支援し、計画的なまちづくりを推進する。		
2023年度 実施内容	まちづくり条例に基づく開発行為等の届出（12件） まちづくり審議会開催（3回）		
【参考】予算事業名	計画的なまちづくり推進事業	【参考】実績額	2,749,213円
		担当課	まちづくり景観課
取り組み②	都市計画策定事業の推進（コンパクト・プラス・ネットワーク型都市構造の推進）	総合戦略	4-1-③-5
説明	・立地適正化計画に基づき適正な土地利用誘導を行うとともに、公共交通ネットワークの維持向上に取り組む。		
2023年度 実施内容	都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の策定を行った。また、第8回線引き見直しについて、令和6年度の都市計画手続きに向けて、県と都市計画の内容について調整を行った。		
【参考】予算事業名	都市計画策定事業	【参考】実績額	23,917,212円
		担当課	環境都市課

具体的施策	② 空き家対策と利活用
-------	-------------

KPI	空き家バンク等の施策誘導を通して、解消された空き家が中期実施計画期間中累計で35件になっている。							
2019.4～2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
19件	9件							35件

進捗状況評価
A：順調である

補足説明（反省点・問題点、工夫している点）
空き家バンクの運営に留まらず、所有者へのアプローチとして空き家アドバイザー派遣制度を活用し、利活用を提案することで、空き家を市場流通に乗せることができた。
今後の対応
空き家バンク、空き家アドバイザー派遣制度を運営し、空き家の利活用の啓発を行う。

主な取り組み

取り組み①	空き家解消事業の推進	総合戦略	2-1-①-1 3-2-③-2 4-1-③-4 4-2-①-5 4-2-②-6
説明	・地域住民や関係団体と連携し、空き家の抑制・適正管理を図る。 ・所有者及び利用希望者に対し売却や利活用に向けた提案等を行い、流通・利活用を促進する。		
2023年度 実施内容	空き家バンクの運営 空き家アドバイザー派遣制度の実施 空き家セミナーの開催		
【参考】予算事業名	計画的なまちづくり推進事業	【参考】実績額	2,749,213円
		担当課	まちづくり景観課

取り組みの方向	2 災害に強く、犯罪のない安全なまち
高齢化が進む住宅都市として、「自らの命は自ら守る。皆のまちは皆で守る。」という意識の浸透、自主防災組織の充実及び避難行動要支援者に対する地域での助け合いの取り組み等を広げ、市民自らの防災力の向上を図るとともに、情報伝達体制の整備や津波対策の充実、河川の改修等を進め、地震や大雨等の自然災害に強いまちづくり、狭あい道路の整備や消防力の充実など都市災害を防ぐまちづくりを進めます。 また、市民一人ひとりの防犯意識の向上を図り、地域の安全は地域で守るという意識を高め、防犯環境に配慮した環境整備を図り、誰もが安心して暮らすことができる、犯罪の起きにくいまちづくりをめざします。	

具体的施策	① 自主防災組織育成の推進
-------	---------------

KPI	防災ハンドブックを更新し、各種訓練、イベント等で配布し、世帯数の80%以上に配布している。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
未更新	未更新							世帯数80%以上に配布

進捗状況評価	
B：概ね順調であるとみなせる	
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）	
・能登半島地震の課題を踏まえた内容への更新（作成）を要す。 ・令和7年度中にハザードマップの改訂が予定されている。	
今後の対応	
各課題の検証を行うとともに、ハザードマップの内容を取り込むこと等についても検討する。	

主な取り組み

取り組み①	自主防災組織の育成、加入率向上の支援	総合戦略	—
説明	・様々な主体の連携を図りながら、総合防災訓練、避難所運営訓練、地域住民を対象とした防災教室（初期消火、応急手当、避難訓練等）を実施する。 ・防災ハンドブック等の作成、配布を行う。 ・自主防災組織の育成、加入率向上のほか、自主防災活動を支援するなど自主防災組織の活性化に取り組む。		
2023年度 実施内容	防災教室の実施（54回） 防災訓練の実施（逗子地区11/11、沼間地区10/28、池子地区10/14、久木地区11/26、小坪地区10/7）		
【参考】予算事業名	自主防災組織育成事業	【参考】実績額	2,335,522円
		担当課	防災安全課

具体的施策	② 災害対策に係る整備の充実							
KPI	津波避難ビル（民間施設）の指定数が21施設以上になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
17施設	17施設							21施設以上
進捗状況評価								
B：概ね順調であるとみなせる								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
津波避難ビルに指定できる開発行為が少なく、また、指定同意に理解が得られなかった。								
今後の対応								
・引き続き、津波避難ビル指定の必要性等について、理解を求めていく。 ・指定済みビルが指定解除とならないよう、日頃から顔の見える関係づくりを心掛ける。								

主な取り組み

取り組み①	災害対策用資機材等の計画的な整備				総合戦略	－
説明	・予想される災害の的確な情報把握と市民に対して確実な情報提供ができるような整備を推進するとともに、市民に対し情報の受信方法の周知を行う。 ・予想される災害に備え備蓄資材等の整備に努める。 ・津波災害に備え、津波避難路などの整備を進める。					
2023年度 実施内容	備蓄用品（食料、飲料水、粉ミルク、毛布）及び防災倉庫の購入					
【参考】予算事業名	災害対策事業			【参考】実績額	19,068,879円	担当課 防災安全課
取り組み②	避難施設整備事業の推進				総合戦略	4－2－②－5
説明	・大規模地震等による津波災害から市民等の生命の安全を確保するとともに、津波に対する市民等の不安を解消するため、津波避難施設整備を図る。					
2023年度 実施内容	津波避難施設の整備なし（津波避難ビルの指定なし）					
【参考】予算事業名	災害対策事業			【参考】実績額	0円	担当課 防災安全課

具体的施策	③ 避難行動要支援者への支援の確立
-------	-------------------

KPI	個別避難計画の作成率が35%以上になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
10.4%	12.50%							35%以上

進捗状況評価
B：概ね順調であるとみなせる

補足説明（反省点・問題点、工夫している点）

- ・現状は、自主防災組織役員が無報酬で計画を作成している。
- ・支援（作成）者となる福祉専門職、民生委員、自主防災組織らの心理的負担が大きい。

今後の対応

継続して支援（作成）者となる福祉専門職等に理解・協力を求めていく。

主な取り組み

取り組み①	避難行動要支援者支援制度の普及・啓発の推進	総合戦略	4-2-②-3
説明	・避難行動要支援者支援制度の普及・啓発を行う。 ・庁内関係所管の連携・情報共有による避難行動要支援者名簿の作成を行う。 ・避難行動要支援者名簿の情報が、もれなく随時更新される体制の整備を行う。 ・民生委員・児童委員や逗子市社会福祉協議会、地域包括支援センター、相談支援事業所等、福祉関係専門機関・団体への制度周知と、理解・協力を求める。 ・住民自治協議会及び自主防災組織等との協力体制を確立する。 ・平常時から築かれた近隣の関係性を避難行動要支援者への避難支援体制づくりに導く。 ・避難行動要支援者に必要な避難所の資機材の整備等を図る。		
2023年度 実施内容	自治会及び自主防災組織91団体中、61団体に対して、避難行動要支援者名簿及びマップを配付し普及を図った。		
【参考】予算事業名	災害対策事業	【参考】実績額	19,068,879円
		担当課	防災安全課

具体的施策	④ 消防力の充実
-------	----------

KPI	防災拠点としての機能強化を図るため、老朽化した分団詰所3箇所の整備が進められている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
老朽化が著しい	・第3分団の設計実施 ・第5分団の基本構想案策定 ・第9分団の移転用地の検討							整備が進められている

進捗状況評価	
A：順調である	
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）	
・設計業者と契約し、整備に向けた設計業務を実施した。(第3分団詰所) ・解体工事に係るアスベスト含有調査を追加で実施した(第3分団詰所)	
今後の対応	
・設計に基づき、令和6年度に解体及び建築工事を実施し、令和6年度末に運用を開始する。(第3分団詰所) ・基本構想に基づき、市民参加制度による手続きが進められてる。（第5分団詰所） ・移転用地の検討が進められている。（第9分団詰所）	

主な取り組み

取り組み①	消防車両の更新整備	総合戦略	－
説明	・消防力の充実強化を図るため、消防自動車等を計画的に整備する。		
2023年度 実施内容	・災害対応特殊救急自動車及び高度救命処置用資器材の購入(逗子北救急1) ・小型動力ポンプ付き積載車の購入(第4分団)		
【参考】予算事業名	車両整備事業	【参考】実績額	56,271,578円
		担当課	消防総務課
取り組み②	消防水利の整備	総合戦略	－
説明	・消防水利を適正に維持管理する。		
2023年度 実施内容	・老朽化した消火栓の補修を行った。 ※実績額は、令和3年度施工分(事後請求のため)		
【参考】予算事業名	消防水利維持管理事業	【参考】実績額	849,494円
		担当課	消防総務課
取り組み③	消防団の充実	総合戦略	－
説明	・地域防災力の中核となる消防団の充実強化のため、老朽化した消防団詰所を計画的に整備する。		
2023年度 実施内容	・第3分団詰所の整備として、設計業務を実施した。 ・第3分団詰所の解体工事に係るアスベスト含有調査を実施した。 ・第5分団詰所の整備として、北分署との合同庁舎案を市長ヒアリング及び事業査定に提出し、いずれも了承された。地元自治会及び南関東防衛局などの関係機関と調整中。 ・第9分団詰所の整備としては、桜山長柄線計画延長との兼ね合いから、対応について今後検討となった。		
【参考】予算事業名	消防団詰所整備事業	【参考】実績額	8,166,400円
		担当課	消防総務課
取り組み④	消防広域化の可能性の検討	総合戦略	－
説明	・消防力の充実強化を図るため、消防の連携・協力の推進について検討する。		
2023年度 実施内容	・総務省消防庁が主催する広域化説明会に出席予定であったが、令和6年能登半島地震に伴い中止となった。		
【参考】予算事業名	－	【参考】実績額	－
		担当課	消防総務課

具体的施策	⑤ 建築物等の耐震化の推進
-------	---------------

KPI	耐震改修工事の補助金により耐震化された住宅が中期実施計画期間中累計35件になっている。							
2015.4～2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
37件	1件							35件

進捗状況評価
C：順調であるとみなせない

補足説明（反省点・問題点、工夫している点）
当該年度中に耐震改修工事には至らなかったが、耐震セミナーの開催方法を変更し、会場に出向いて相談を受ける形から、対象家屋を訪問し相談を実施する形に変更することで、相談者数の増加を図った。
今後の対応
能登半島地震の発生により関心が高まっており、現地の画像等を用いたリアル感のある啓発を行う。

主な取り組み

取り組み①	建築物等の耐震化の推進	総合戦略	－
説明	・ 耐震性の劣る建築物を主な対象とし、その所有者・管理者等に耐震診断及び耐震改修の促進について、普及・啓発を図り、必要に応じて耐震診断や耐震改修の補助、意識啓発のための情報提供を行う。 ・ 耐震診断・耐震補強工事の補助金を交付することにより、木造住宅の耐震化を推進する。 ・ 危険ブロック塀除去の補助金を交付することにより、避難路の安全確保を推進する。		
2023年度 実施内容	耐震セミナーの開催、耐震診断や耐震改修工事、危険ブロック塀除去工事に係る費用の補助		
【参考】予算事業名	震前震後対策事業	【参考】実績額	1,708,000円
		担当課	まちづくり景観課

具体的施策	⑥ 浸水対策の推進							
KPI	2025年度末までに、田越川準用河川浸水想定区域図及び内水浸水想定区域図を作成し、浸水被害が予想されるエリアの周知を行う。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
未完成	作成中							区域図を作成 エリアを周知
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
今後の対応								
浸水想定区域図作成業務委託を発注し、令和５年度は現況測量を行い、モデル構築等を行った。令和６年度には区域図を作成予定。								

主な取り組み

取り組み①	田越川準用河川浸水想定区域図の作成・公表	総合戦略	－
説明	・昨今の気象条件を踏まえた田越川準用河川の浸水想定区域図を設定し、公表する。		
2023年度 実施内容	田越川準用河川洪水想定区域図策定業務委託を発注し、令和5年度は現況測量を行った。		
【参考】予算事業名	河川維持管理事業	【参考】実績額	25,143,070円 担当課 都市整備課
取り組み②	田越川準用河川の整備	総合戦略	－
説明	・新たに設定する田越川準用河川浸水想定区域を基に、田越川準用河川の整備内容を検討する。また、新技術の研究を行うとともに、必要に応じて関係地権者と調整して事業を進めていく。		
2023年度 実施内容	田越川準用河川洪水想定区域図策定業務委託を発注し、令和5年度は現況測量を行った。		
【参考】予算事業名	河川整備事業	【参考】実績額	－ 担当課 都市整備課
取り組み③	田越川二級河川区間の河川改修の推進	総合戦略	－
説明	・県に対し、継続的な河川改修整備の実施を要望する。		
2023年度 実施内容	神奈川県による田越川の河川改修は継続して行っている。		
【参考】予算事業名	河川維持管理事業	【参考】実績額	25,143,070円 担当課 都市整備課
取り組み④	内水浸水想定区域図の作成・公表	総合戦略	－
説明	・2021年度に施行された流域治水関連法に伴う、想定最大降雨等による内水浸水想定区域図の作成・公表を2025年度までに行う。		
2023年度 実施内容	浸水想定区域図作成業務委託（令和5・6年度2か年継続業務）を発注し、令和5年度は現況測量を行い、モデル構築等を行った。		
【参考】予算事業名	管路建設費	【参考】実績額	315,642,058円 担当課 下水道課
取り組み⑤	雨水浸透施設等の設置	総合戦略	－
説明	・新築等の際に宅内に降った雨水については、宅内で浸透させるように指導を行う。 ・開発基準に基づき、雨水浸透施設及び雨水貯留施設設置の指導を行う。		
2023年度 実施内容	排水設備等確認申請書における指導 264件 まちづくり条例の開発指導 13件		
【参考】予算事業名	－	【参考】実績額	－ 担当課 下水道課

具体的施策	⑦ 防災・消防・防犯分野の連携の推進
-------	--------------------

KPI	各関係機関と連携を図り、刑法犯発生率が0.15%以下となっている。							
2021.12	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
0.19%	0.49%							0.15%以下

進捗状況評価
C：順調であるとみなせない

補足説明（反省点・問題点、工夫している点）
・警察庁が、刑法犯の認知数が前年比17.0%増加、2年連続上昇と公表 ・新型コロナ5類移行に伴う人流の活発化が背景にあるとみられる。
今後の対応
・継続して年金支給日に特殊詐欺防止周知活動に取り組む。 ・防災・防犯メールを活用し、防犯事案について周知する。 ・青色パトロールを月1回実施する。

主な取り組み

取り組み①	各関係機関との連携強化	総合戦略	—
説明	・安全で安心なまちづくりを進めるために、関係機関と連携を図り情報を共有する。		
2023年度 実施内容	・市内防犯関係機関と連携強化を図るべく、情報交換を行った。 ・年金支給日に特殊詐欺防止周知活動（ポケットティッシュ配布）を実施した。		
【参考】予算事業名	—	【参考】実績額	—
		担当課	防災安全課

具体的施策	⑧ 犯罪のないまちづくりの推進							
KPI	防犯メール登録者数が21,000人以上となっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
15,450人	16,024人							21,000人以上
進捗状況評価								
B：概ね順調であるとみなせる								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
防災訓練などイベント時に、防災・防犯メールの登録方法等について周知している。								
今後の対応								
・引き続き、イベント時などにおいて、防災・防犯メールの登録方法等について周知する。 ・登録用QRコードを広く周知すべく、その活用方法等について研究していく。								

主な取り組み

取り組み①	各関係機関との連携強化及び支援			総合戦略	－
説明	・ 市民一人ひとりの防犯意識を高め、犯罪を回避するための行動の指針となる情報を提供する。				
2023年度 実施内容	・ 市内防犯関係機関と連携強化を図るべく、情報交換を行った。 ・ 毎月10日（防犯の日）に、防災・防犯メールにより注意喚起等を行い、意識啓発に取り組んだ。				
【参考】予算事業名	－	【参考】実績額	－	担当課	防災安全課
取り組み②	安全・安心に係る情報提供			総合戦略	－
説明	・ 各地域の防犯意識が高まり、より多くの市民により防犯・地域安全体制の強化が進められるよう、犯罪回避のための情報提供の推進、防犯情報の共有化、市民、市、警察、防犯協会等の団体との連携強化を支援する。 ・ 地域での防犯情報の共有化を図るため、防犯メール登録者数の増加に努める。				
2023年度 実施内容	・ 年金支給日に特殊詐欺防止周知活動を実施 ・ 地域防犯カメラ設置事業補助金交付（3団体）				
【参考】予算事業名	防犯対策事務費	【参考】実績額	1,710,955円	担当課	防災安全課
取り組み③	市道における適正な防犯灯の確保			総合戦略	－
説明	・ 市が公共施設を設置する際、防犯アドバイザーにより、市道における防犯灯の設置など、あらゆる分野における防犯対策のアドバイスを行う。 * 被害対象の回避・強化（犯罪発生要因の除去、対象物の強化を図ること） * 接近の制御（犯罪企図者が被害対象者（物）に近づきにくくすること） * 監視性の確保（多くの人の目が自然に届く見通しを確保すること） * 領域性の確保（領域を明確にして部外者が侵入しにくい環境をつくること）				
2023年度 実施内容	・ 街路灯数4,702灯（令和6年3月31日現在） ・ 適正な街路灯維持管理のため、事業者に維持管理を委託				
【参考】予算事業名	街路灯維持管理事業	【参考】実績額	28,521,093円	担当課	防災安全課
取り組み④	防犯対策事業の推進			総合戦略	4－2－②－4
説明	・ 防犯指導及び自主防犯活動の高揚を図ることを目的としている団体へ補助及び支援等をする。				
2023年度 実施内容	・ 逗子市防犯協会に対し補助金を交付 ・ 小坪交番連絡協議会に対し補助金交付				
【参考】予算事業名	防犯対策事務費	【参考】実績額	1,710,955円	担当課	防災安全課

取り組みの方向	3 歩行者と自転車を優先するまち
自動車交通がもたらす交通事故や交通公害、混雑などを解決するためには、環境負荷の低減を図り、自動車の過度な利用を抑制し、公共交通機関や歩行者、自転車の安全性や利便性、快適性を高める必要があります。 わたしたちは、歩行者も自転車も優先することができる社会をめざすことにより、豊かで快適、安全な、生活の質（クオリティ・オブ・ライフ）の高いまちづくりを実現します。	

具体的施策	① 歩行者と自転車を優先するまちの推進							
KPI	居住地域の現在のイメージで、次に掲げる項目の数値を達成する。 ・①「歩行者や車イスの人が安全に出歩けるまち」と回答する人の割合が10%以上になっている。 ・②「自転車を利用しやすいまち」と回答する人の割合が10%以上になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
①3.5%	①4.4%							①10%以上
②6.0%	②5.8%							②10%以上
進捗状況評価								
B：概ね順調であるとみなせる								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
「歩行者と自転車を優先するまち」ワークショップを実施し、自転車誘導マーク等の設置を行うことができたが、歩行者・自転車の共存方法の具体的な方策が示せなかった。								
今後の対応								
今後、地域公共交通計画を策定し、自家用車の移動に頼らないまちづくりを具体的に進めていく方策を検討する方針であるため、それらの検討と合わせて進めていく。								

主な取り組み

取り組み①	歩行者と自転車を優先するまち推進事業の推進	総合戦略	3-1-①-1 4-1-③-6
説明	・様々な立場の方が安全で快適に利用できる交通環境をつくるため、市民参加・参画のもと、地域で交通問題に取り組む仕組みづくりを進める。 ・自動車利用の際、事故、公害、混雑を軽減するために、歩行者、自転車、自動車の棲み分け、共存のあり方を点検するなど、限られた道路空間を有効に活用する工夫と、それを実現する仕組みの検討を行う。 ・主要道路へ自転車走行位置を示す自転車誘導マーク設置の調整を行う。 ・自転車の正しい利用方法に関するキャンペーン、教室の開催など、周知、啓発に努めていく。 ・主に児童、高齢者を対象とした交通安全教育を進める。 ・駅周辺をはじめとした市内の交通環境をより円滑なものとするため、必要な調査等を行う。		
2023年度実施内容	・歩行者と自転車のまちを考える会の主催で、「ツール・ド・逗子2023」（5月28日）、「逗子カーフリーデー2023」（9月23日）、「トモイク自転車教室」（3月23日）を実施した。 ・シェアサイクル実証実験（経済観光課にて令和元年度より開始）の専用駐輪場（ステーション）を1か所追加設置した。（合計34か所） ・逗子市道55号に矢羽根・自転車ピクトグラムの設置を行った。		
【参考】予算事業名	—	【参考】実績額	—
		担当課	環境都市課

取り組み②	自家用車に頼らないまちづくりの推進 (公共交通機関への乗り換えを容易にするシステムに関する取り組み) (未来技術の活用に向けた取り組みの推進)	総合戦略	3-1-①-4 4-1-③-13 4-2-②-9
説明	・公共交通機関の利用促進、シェアサイクル・カーシェアリングの検討など、自家用車に頼らずとも生活できる環境づくりに取り組む。 ・交通を地域の暮らしと一体として捉え、コミュニティバス等の持続可能な地域交通の導入に向け、市と地域が協働して行う取り組みを推進する。 ・バス、電車への乗り換えを容易とするシステムの実施を検討する。		
2023年度 実施内容	国内先進事例の視察・調査を行い、令和6年度実証運行に向けた企画・調整を行った。		
【参考】予算事業名	公共交通拡充支援事業	【参考】実績額	9,820円 担当課 環境都市課
取り組み③	駐輪場の整備等	総合戦略	3-1-①-5
説明	・民間事業者による駅周辺の開発の際には、十分な台数の駐輪場を設置するよう求めていくなど、民間事業者等と協働した駐輪環境の整備を進める。		
2023年度 実施内容	神武寺駅周辺の無料駐輪場について、需要に合わせて増設し、駐輪可能台数を増やした。		
【参考】予算事業名	公共駐車場維持管理事業	【参考】実績額	7,699,180円 担当課 環境都市課
【参考】予算事業名	自転車等駐車場維持管理事業	【参考】実績額	1,147,494円 担当課 環境都市課
取り組み④	自転車通行帯の明確化	総合戦略	—
説明	・主要道路へ自転車走行位置を示す自転車誘導マークを設置する		
2023年度 実施内容	逗子市55号道路舗装工事と合わせて、自転車誘導マークを設置した。		
【参考】予算事業名	道路補修事業	【参考】実績額	61,038,204円 担当課 都市整備課
取り組み⑤	鉄道事業者との連携による通勤電車本数の維持	総合戦略	3-1-①-2
説明	・市街地整備に関する必要な事務の一環として、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じて、鉄道事業者へ要望活動を実施する。		
2023年度 実施内容	神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じ東日本旅客鉄道へ朝の通勤・通学時間帯の逗子駅始発上り電車の増発を依頼した。		
【参考】予算事業名	市街地整備事務費	【参考】実績額	24,497円 担当課 環境都市課
取り組み⑥	より快適な通勤環境整備への支援	総合戦略	3-1-①-3
説明	・市民が快適に通勤できる環境整備を行う。		
2023年度 実施内容	神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じて、「逗子駅始発上り電車の増発」について、鉄道事業者へ要望した。		
【参考】予算事業名	—	【参考】実績額	— 担当課 企画課

取り組みの方向	4 都市機能の整った快適なまち
市民の安全で快適な都市生活を維持し、拡充を図るため、高齢化の急速な進展や多様化する社会ニーズに対応し、長期的な視点に立った都市機能の整備が必要です。 本市の財政状況や限られた土地の利活用の視点、高齢化等への配慮から施設の複合化や多機能化、バリアフリー化を図り、また、地震をはじめとした自然災害等を考慮した都市機能の再編・再整備を計画的に進めます。	

具体的施策	① 公共施設等の更新・統廃合・長寿命化の実施							
KPI	JR東逗子駅前用地活用に係る構想、計画のもと、2027年度末までに整備した施設が利用されている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
施設整備が実施されていない。	基本計画を策定した							整備した施設が利用されている。
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・WEBアンケート及びワークショップを開催し、広く市民意見を収集できるよう工夫した。								
今後の対応								
・関係所管と連携し、基本設計を作成する。								

主な取り組み

取り組み①	公共施設マネジメントの推進	総合戦略	－
説明	・行財政改革基本方針において、公共施設マネジメントの取り組みを位置づけ、将来の財政状況を勘案した上で、人口減少、少子高齢化の進展等による公共施設等の利用需要の変化に対応した公共施設のあり方の検討を進める。 ・計画的な予防保全型の修繕・更新の実施によるライフサイクルコストの縮減及び施設の長寿命化を図る。 ・更新に当たっては、既存施設の集約化・複合化・転用を基本とし、全体としての延床面積を減少させる。		
2023年度実施内容	・逗子市公共施設整備計画（第1期実施計画）をはじめとする各個別施設計画に基づき、公共施設等の整備事業を行った。		
【参考】予算事業名	行財政改革推進事業	【参考】実績額	57,200円
		担当課	総務課
取り組み②	東逗子地域の活性化をめざしたJR東逗子駅前用地活用事業の推進	総合戦略	2-2-②-6 4-1-③-1
説明	・JR東逗子駅前の旧国鉄清算事業団用地を有効活用して、公共施設を集約し複合施設として整備することで、駅周辺の快適性、利便性の向上及び地域の活性化を図る。		
2023年度実施内容	・市民ニーズを把握するためにワークショップを3回開催し、計86人が参加した。 ・基本計画を策定した。 ・オンライン（Zoom）を併用してJR東逗子駅前用地活用事業基本計画案に関する説明会を行い、30人が参加した。（2024年1月28日午前18人@商工会館、午後12人（うち1人オンライン）@市役所会議室）		
【参考】予算事業名	JR東逗子駅前用地活用事業	【参考】実績額	11,000,000円
		担当課	企画課

具体的施策	② バリアフリーのまちづくりの推進						総合戦略	4－1－④－1	
KPI	金沢新道踏切について改良工事が完了している。								
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標	
協議中	協議中							改良工事完了	
進捗状況評価									
A：順調である									
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）									
今後の対応									
今年度中に神奈川県、JR、市で改良工事に関する協定を取り交わし、JRにて改良の設計及び工事を行う予定。									

主な取り組み

取り組み①	無電柱化の推進						総合戦略	—
説明	・歩行空間のバリアフリー化とともに、景観上の観点からも幹線市道の無電柱化を推進する。							
2023年度 実施内容	JR逗子駅前のなぎさ通りについて、横須賀市所有の休止占用管を活用できるかを横須賀市と協議し、活用可との回答を得た。それを踏まえ、東電に無電柱化が可能かどうかについて協議中。							
【参考】予算事業名	道路改良事業		【参考】実績額	4,911,500円	担当課	都市整備課		
取り組み②	市道のバリアフリー化の推進						総合戦略	—
説明	・2003年（平成15年）に策定した「逗子市交通バリアフリー基本構想」に基づき、市道のバリアフリー化を行う。							
2023年度 実施内容	JR逗子駅前のなぎさ通りについては、電柱が支障となっていることから無電柱化が課題となっており、取り組み①の事業を推進している。							
【参考】予算事業名	道路改良事業		【参考】実績額	4,911,500円	担当課	都市整備課		
取り組み③	国・県道のバリアフリー化の推進						総合戦略	—
説明	・歩道が狭い県道について、無電柱化の検討も含め、神奈川県へバリアフリー化を行うよう要望する。 ・金沢新道踏切の改良について神奈川県へ要望を行い、バリアフリー化を推進する。							
2023年度 実施内容	県道については、神奈川県に歩道の拡幅等の要望を行っている。 金沢新道踏切については神奈川県、JR、市で改良工事の協議中である。							
【参考】予算事業名	—		【参考】実績額	—	担当課	都市整備課		
取り組み④	市民協働による公共施設のバリアフリー化の推進						総合戦略	—
説明	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れたバリアフリー化を図るため、公共施設整備バリアフリー懇話会にて意見聴取を行い、障がい者や高齢者などが公共施設を安全かつ快適に利用できるよう整備を進める。 ・特に避難施設については、積極的にバリアフリー化を進めていく。							
2023年度 実施内容	逗子市久木小学校長寿命化改修等（屋内運動場ほか）工事について、バリアフリー懇話会を1回開催した。							
【参考】予算事業名	障がい者の住みよいまちづくり推進事業		【参考】実績額	425,153円	担当課	障がい福祉課		

具体的施策	③ 都市環境の改善
-------	-----------

KPI	防災工事費助成件数が中期実施計画期間中累計で182件になっている。							
2015.4～2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
81件	15件							182件

進捗状況評価
C：順調であるとみなせない

補足説明（反省点・問題点、工夫している点）

想定よりも申請が少なかった。

今後の対応

引き続き防災工事費助成を行っていくが、より周知を行い申請件数が増えるように事業を行っていく。
--

主な取り組み

取り組み①	都市機能を整えるインフラの整備			総合戦略	4-1-③-9
説明	・個別施設計画（舗装編）に基づき、計画的な舗装修繕工事を行う。 ・個別施設計画に基づかない道路についても、道路の状態により修繕を行う。 ・県道の拡幅等の整備について、国・県等関係機関に要請する。 ・県道24号の交通渋滞の緩和に向け、県に三浦半島中央道路の早期着工を要請する。 ・橋りょう長寿命化修繕計画及びトンネル長寿命化修繕計画に基づき、計画的な橋りょう及びトンネルの修繕工事を行う。				
2023年度 実施内容	逗子55号及び小坪1号道路舗装工事の実施。直近の点検結果を踏まえ、橋りょう長寿命化修繕計画の改定を行った。また、愛染橋修繕工事の詳細設計業務を行った。県道の拡幅については、神奈川県に要望を行った。				
【参考】予算事業名	道路舗装事業	【参考】実績額	36,895,100円	担当課	都市整備課
【参考】予算事業名	橋りょう長寿命化事業	【参考】実績額	25,434,880円	担当課	都市整備課
【参考】予算事業名	道路改良事業	【参考】実績額	4,911,500円	担当課	都市整備課
取り組み②	道路アダプトプログラムの推進（各種アダプトプログラムの推進）			総合戦略	4-2-①-6
説明	・道路等里親制度を活用した市民協働による道路やポケットパーク等の美化活動を推進する。				
2023年度 実施内容	道路アダプト団体への花苗の配布を年2回行った。				
【参考】予算事業名	道路維持管理事業	【参考】実績額	18,880,133円	担当課	都市整備課

取り組み③	街路樹の計画的な管理	総合戦略	－
説明	・道路等を通行する車両や歩行者の安全を確保するために、街路樹を適正に管理する。 ・老朽化した街路樹の多い地域では、植替計画を策定し、計画的な植え替えを行う。		
2023年度 実施内容	街路樹維持管理業務委託にて、街路樹の維持管理を行った。 危険木伐採業務委託等を実施し、街路樹診断結果を元に30本の伐採を実施した。		
【参考】予算事業名	街路樹維持管理事業	【参考】実績額	25,873,554円 担当課 都市整備課
取り組み④	道路の拡幅や隅切り等の整備	総合戦略	－
説明	・狭あい道路整備事業により、道路の拡幅や隅切り等の整備をする。 ・広報誌や特定行政庁の協力を得て、狭あい道路整備事業の啓発を図る。		
2023年度 実施内容	・申請件数 13件 合計251件 ・寄附延長約68m ・狭あい道路率65.47%		
【参考】予算事業名	狭あい道路整備事業	【参考】実績額	13,037,079円 担当課 都市整備課
取り組み⑤	長寿命化対策の実施	総合戦略	－
説明	・ストックマネジメント計画に基づき、順次対策工事を実施する。		
2023年度 実施内容	逗子市公共下水道ストックマネジメント基本計画策定業務委託（管路施設）、令和5年度下水道管路更新工事、令和5年度下水道管路更生工事及び令和5年度下水道管路更生工事その2を実施した。		
【参考】予算事業名	管路建設費	【参考】実績額	315,642,058円 担当課 下水道課
【参考】予算事業名	ポンプ場建設改良費	【参考】実績額	－ 担当課 下水道課
2023年度 実施内容	逗子市公共下水道ストックマネジメント計画（処理場・ポンプ場等）策定業務委託及び第3系列汚水ポンプ設備等改築工事（令和4・5年度2か年継続工事）を実施した。		
【参考】予算事業名	処理場建設改良費	【参考】実績額	464,757,851円 担当課 下水道課
取り組み⑥	地震対策の実施	総合戦略	－
説明	・総合地震対策計画に基づき、順次対策工事を実施する。 ・地震・津波等で被害を受けた場合の下水道業務継続計画（下水道BCP）については、必要に応じて改訂を行う。		
2023年度 実施内容	逗子市管路耐震詳細診断業務委託、逗子市管路施設耐震化詳細設計業務及びマンホールトイレシステム設置工事（久木中学校内：5基／組）を実施した。		
【参考】予算事業名	管路建設費	【参考】実績額	315,642,058円 担当課 下水道課
取り組み⑦	合流式下水道の改善	総合戦略	－
説明	・合流式下水道を改善するため、久木ハイランド地区において雨水管渠等対策工事を順次実施し、更なる分流化を進める。		
2023年度 実施内容	逗子第5分区雨水渠整備工事を実施した。		
【参考】予算事業名	管路建設費	【参考】実績額	315,642,058円 担当課 下水道課
取り組み⑧	下水処理場等下水道施設の再整備に向けた調査・研究等	総合戦略	－
説明	・持続可能な下水道事業を推進するため、将来像を見据え令和3年度に策定した浄水管理センター再整備基本構想のもと、引続き必要な調査・研究等を行う。		
2023年度 実施内容	葉山町との汚水処理の広域化・共同化の可能性検討調査を行い、現有地にて再整備を行う方針とした。また、東日本大震災で被災した処理場を視察し、地震・津波対策の調査を行った。		
【参考】予算事業名	処理場建設改良費	【参考】実績額	464,757,851円 担当課 下水道課

取り組み⑨	道路沿いのがけ崩れ対策の推進	総合戦略	－
説明	・ 民有地に関しては、土地所有者に倒木のおそれのある木の伐採や崩落のおそれのある斜面の法面保護工事等についての防災工事費助成制度や急傾斜地崩壊対策事業の説明をしながら、適正な維持管理を行うよう促す。 ・ 防災性の高いまちづくりを推進するために、ホームページや広報誌で啓発を図る。 ・ 自治会・町内会や住民自治協議会等と連携して危険箇所の把握や周知を図る。		
2023年度 実施内容	防災工事費助成を15件行った。		
【参考】 予算事業名	防災工事助成事業	【参考】 実績額	4,790,000円 担当課 都市整備課
取り組み⑩	市内の交通環境の改善	総合戦略	－
説明	・ JR逗子駅前公民連携プロジェクトに係る逗子市基本方針に基づき、交通渋滞の緩和や安全で安心な歩行空間の確保、回遊性の向上や滞留スペースの創出のための整備を行う。		
2023年度 実施内容	JR逗子駅前の開発事業者とJR逗子駅前公民連携プロジェクトに係る逗子市の基本方針に基づき協議を行った。		
【参考】 予算事業名	道路改良事業	【参考】 実績額	4,911,500円 担当課 都市整備課

取り組みの方向	5 地域資源を生かした個性豊かなにぎわいのあるまち
市街地を囲むみどり豊かな山や青い海の逗子海岸や小坪漁港、これらの逗子の魅力を国内外に向けて発信し続け、人が集い、ふれあいの輪が広がり、地域のにぎわいが生まれるまちをつくります。 自然、文化、人という逗子の恵まれた地域資源を、磨き、つなぎ、生かすことにより、地域産業の活性化や個性豊かな産業の創出を図るとともに、住む人、働く人、訪れる人が一体となって、成熟した魅力あふれるまちをつくります。	

具体的施策	① 逗子海岸保全活用事業の推進							総合戦略	2-2-②-1 3-2-③-1 4-1-②-3
KPI	海水浴客数が40万人になっている。								
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標	
86,600人	220,200人							400,000人	
進捗状況評価									
B：概ね順調であるとみなせる									
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）									
・ 2022年度の海水浴客は250,500人で、2023年度はコロナ禍も落ち着き増加すると想定していたが、7月上旬から猛暑が続いたため、日中の主な客層である子ども連れや学生グループの来場が減ったことで海水浴客数が減少し、新たな課題となった。									
・ 一方、条例等ルールに基づいた安心安全な海水浴場の運営は概ね維持できている。									
・ また、市観光協会を中心とした実行委員会との協働により、逗子海岸に親しみ愛着を持ってもらうためのきっかけづくりを継続して取り組んでいる。									
今後の対応									
・ 地域住民の生活環境や海水浴場の風紀を維持したうえで、ファミリービーチとしての魅力を高める取組を検討する。									
・ 検討にあたっては、試行的取組を実施し、検証を行う。									

主な取り組み

取り組み①	安全で快適な海水浴場の運営（安全安心で楽しいファミリービーチの推進）	総合戦略	2-2-②-8 4-1-③-12
説明	・条例に基づく市民、関係団体・機関との協議により、市としての海水浴場の対策を決定し実行する。 ・海水浴場安全対策の充実を図る。		
2023年度実施内容	・逗子海水浴場の運営に関する検討会での検討・協議を踏まえてルールを策定し、海水浴場を運営した。 ・マナーアップ警備員外国人通訳アドバイザーの増員やルール周知啓発看板に違反者への退場勧告を予告する等の更新を加えて設置するなど、周知啓発活動を強化して取り組んだ。 ・ルール違反や犯罪の抑止、混雑緩和のために防犯カメラを本格導入して周知し、安全安心な利用を促した。 ・市観光協会を中心とした実行委員会と協働で、「逗子海岸ウォーターパーク」の開設や、「わっしょい逗子海岸」子ども向け体験イベントを開催し、逗子海岸に親しみ楽しむきっかけづくりに取り組んだ。		
【参考】予算事業名	海水浴場運営事業	【参考】実績額	31,786,361円
		担当課	経済観光課

取り組み②	海水浴以外の海岸の活用の推進 (マリンスポーツ等、海でのレジャー体験の推進による地域ブランディング) (秋・冬の海岸の活用) (プロジェクションマッピング海浜投影)			総合戦略	2-2-②-13 2-2-②-14 4-1-①-7
説明	・海水浴以外の逗子海岸の魅力を高めて情報発信する。 ・海岸の利用を促すイベント等を実施する。 ・逗子市観光協会を助成することで、観光客誘致に係る事業を推進し、更なる観光振興を図る。 ・海・浜のルールの周知を行う。 ・マリンスポーツの普及を図る。				
2023年度 実施内容	・主な取組として、市観光協会を中心とした実行委員会と協働で、秋に「NIGHT WAVE」を、春先に「わっしょい逗子海岸」子ども向け体験イベントを開催し、海水浴以外の逗子海岸の利用を促した。				
【参考】 予算事業名	観光客誘致事業	【参考】 実績額	616,792円	担当課	経済観光課
【参考】 予算事業名	逗子市観光協会助成事業	【参考】 実績額	28,931,000円	担当課	経済観光課
【参考】 予算事業名	海水浴場運営事業	【参考】 実績額	31,786,361円	担当課	経済観光課
取り組み③	【3-1再掲】 良好な逗子海岸、海水浴場の環境の推進 (逗子海岸保全活用事業の推進) (海洋プラスチックごみ対策の推進)			総合戦略	2-2-②-1 3-2-③-1 4-1-②-3 4-1-④-4
説明	・持続可能で良質な逗子海岸を維持するため、国際環境認証であるブルーフラッグの取得を継続し、市民向けに環境教育のイベント、講座等を実施する。 ・海洋プラスチックごみがもたらす環境への影響、プラスチック製品の使用の注意事項や使い捨て製品の使用を控える行動を促す等の周知活動を行う。 ・海岸への排水・廃棄の禁止、海の家排水設備の整備促進など海を汚さない取り組みを行う。 ・養浜対策について県に要請する。 ・関係機関を通じ、国に対して養浜対策の技術的支援を要請する。				
2023年度 実施内容	・逗子海岸営業協同組合と協働で、2年連続で国際環境認証ブルーフラッグを取得した。 ・逗子小学校での出張授業などの環境教育プログラムを協働で実施し、13企画に約1,000人が参加した。 ・海を家の海洋プラスチックごみ対策を負担金により支援し、小学生向けの周知啓発物を作成した。 ・海岸への排水対策に向けて、調査研究を行なった。 ・養浜対策について、国及び県へ要望活動を行うことに加え、調査研究に向けた調整を行なった。				
【参考】 予算事業名	海水浴場運営事業	【参考】 実績額	31,786,361円	担当課	経済観光課
【参考】 予算事業名	海岸美化推進事業	【参考】 実績額	9,313,455円	担当課	経済観光課
取り組み④	【3-1再掲】 逗子海岸美化活動の推進（各種アダプトプログラムの推進）			総合戦略	4-2-①-6
説明	・海岸利用者にごみ等の散乱防止を啓発するとともに、協力を得て美化活動の実施に努める。 ・アダプトプログラムによる海岸一斉清掃を実施する。				
2023年度 実施内容	・かながわ海岸美化財団による海岸清掃を103日実施した。（負担金及び一部委託） ・アダプトプログラムによる海岸一斉清掃を11回実施し、約770人が参加した。☑				
【参考】 予算事業名	海水浴場運営事業	【参考】 実績額	31,786,361円	担当課	経済観光課
【参考】 予算事業名	海岸美化推進事業	【参考】 実績額	9,313,455円	担当課	経済観光課

具体的施策	② 商工業振興の推進							総合戦略	2-2-②-5 3-2-①-1 3-3-②-1
KPI	逗子市商工会の会員数が、1,300人以上になっている。								
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標	
1,206人	1,196人							1,300人以上	
進捗状況評価									
B：概ね順調であるとみなせる									
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）									
・ コロナ禍に支援が必要な事業者が増えたため会員数は一時増加したが、コロナ禍が落ち着いて事業者支援を受ける必要のない事業者が脱会するなどにより、加入数より脱退数が多くなっていることが課題となっている。									
今後の対応									
・ 市内事業者が商工会に加入することで、市内商工事業者間の連携を促進し、市内商工業の活性化に寄与することから、加入数を維持、増加していくために、商工会と連携した事業者支援等に取り組んでいく。									

主な取り組み

取り組み①	逗子市商工会や市内商店街への支援					総合戦略	－
説明	・ 商工業者支援に係る方策を計画的に進めるための基本的方向性を定め、商工業の活性化を図り、振興施策の具体化を図る。 ・ 新型コロナウイルス感染症の感染症対策等社会変化に応じた事業者への相談窓口の設置を支援する。 ・ 商工会と連携し、イベントの実施や周知等の活動を支援する。						
2023年度 実施内容	・ 逗子市商工会や市内商店街の取り組みを支援するための補助事業を実施した。 ・ 社会状況の変化に応じた事業者相談窓口の設置を支援するための補助事業を実施した。 ・ 新型コロナウイルス感染症や物価高等により落ち込んだ市内での消費を喚起するために、商店街団体等が実施するイベント開催等の取り組みを支援するための補助事業を実施した。						
【参考】予算事業名	商工業振興事業	【参考】実績額	245,590円	担当課	経済観光課		
【参考】予算事業名	逗子市商工会助成事業	【参考】実績額	30,557,225円	担当課	経済観光課		
取り組み②	地域産業の増収支援や地域資源開発に関する取り組み					総合戦略	3-2-③-5
説明	・ 商工会と連携し、地場産品の認定や周知等の活動を支援する。						
2023年度 実施内容	・ 商工会による地場産品の認定や周知等の活動の取り組みを支援する補助事業を実施した。 ・ 商工会と連携し、地場産品をふるさと納税返礼品として認定し、周知PR活動を支援した。						
【参考】予算事業名	逗子市商工会助成事業	【参考】実績額	30,557,225円	担当課	経済観光課		
取り組み③	ふるさと納税に関する取り組み					総合戦略	2-2-②-18 3-2-③-4
説明	・ 商工会と連携し、ふるさと納税返礼品を推進する活動を支援する。 ・ ふるさと納税の電子ポイント返礼品や体験型返礼品を市内事業者と創出し、まちの魅力発信を行う。						
2023年度 実施内容	・ 商工会と連携し、新たな返礼品の開発や事業者の開拓を行った。 ・ 通常のモノの返礼品のみならず、コト消費を促進する体験利用券取扱店や電子ポイント返礼品加盟店の増加を図り、商工会と連携して、まちの魅力発信を行なった。						
【参考】予算事業名	逗子市商工会助成事業	【参考】実績額	30,557,225円	担当課	経済観光課		
【参考】予算事業名	観光客誘致事業	【参考】実績額	616,792円	担当課	経済観光課		
【参考】予算事業名	逗子市観光協会助成事業	【参考】実績額	28,931,000円	担当課	経済観光課		

具体的施策	③ 小坪漁港を中心とした小坪海浜地域活性化の推進 (小坪海浜地域活性化事業の推進)						総合戦略	2-2-②-7 3-2-②-1 4-1-③-7
KPI	小坪漁業協同組合が観光等の組み合わせによる漁業体験等を事業として実施し、年間280人以上参加している。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
60人	341人							280人以上
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・漁業に使わない時間帯や時期に漁師が操船する漁船を有効活用する「小坪漁師タクシー」の事業化に向けて、課題の整理や人を乗せて運行するために必要な資格等を取得する補助を行うなど、協働で実証実験を行った。 ・民間企業と小坪漁業協同組合や漁業者との連携を支援し、漁業体験イベントを複数回実施した。								
今後の対応								
・2024年度は小坪漁師タクシーの実証実験を重ね、今後の事業化に向けて支援を行う。 ・漁業者と民間企業や市民団体等が連携し、漁業体験コンテンツの創出、自走化に向けた支援を行う。 ・漁港整備については、2023年度に策定した小坪漁港海業振興計画＜骨子＞を基に、2024年度に基本計画を策定し、漁港の新たな活用や活性化に向けて取り組みを推進していく。								

主な取り組み

取り組み①	小坪漁港活用・活性化の推進						総合戦略	－
説明	・漁港の新たな活用及び活性化のために関係者の意見を踏まえた活性化と老朽化対策を加味した漁港整備を実施する。 ・漁業と観光等の組み合わせによる新たな事業の展開を支援する。 ・漁港付近に市民と生産者の交流をできる場を設け、地域住民の利便性の向上と新しいにぎわいの創出を図る。 ・サザエ・アワビの稚貝放流や磯焼け対策など漁場整備を支援する。 ・地元漁獲物、加工品等のPRを行う。							
2023年度 実施内容	・水産庁の海業振興モデル地区として、国から派遣されたコンサルタントを事務局に加えた「小坪漁港の海業振興に関する検討準備会」を計3回開催し、「令和5年度小坪漁港海業振興計画＜骨子＞」を策定した。 ・小坪漁業協同組合が観光との組み合わせによる試行的取組を支援するための補助事業を実施した。 ・「小坪漁師タクシー」の実証実験を協働で行い、4日間の運航で190人が乗船した。 ・民間企業と漁業者が実施する漁業体験イベントに協力し、7企画151人の参加があった。 ・漁業者や市民団体、市観光協会が漁港で開催するイベントの開催に協力し、5回5,500人の来場があった。 ・サザエ・アワビの稚貝放流に補助金を交付し、サザエ28,000個、アワビ6,000個が稚貝放流された。							
【参考】予算事業名	小坪漁港活用・活性化促進事業				【参考】実績額	6,033,084円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	水産業振興事業				【参考】実績額	6,434,139円	担当課	経済観光課
取り組み②	小坪海浜地域の活性化の推進						総合戦略	－
説明	・小坪漁港の活用・活性化の取り組みと施設整備の状況を踏まえて、逗子マリーナ及び小坪マリーナを含む小坪漁港周辺一帯と連携を図り、小坪海浜地域の活性化に取り組む。							
2023年度 実施内容	・水産庁の海業振興モデル地区として、国から派遣されたコンサルタントを事務局に加えた「小坪漁港の海業振興に関する検討準備会」を計3回開催し、「令和5年度小坪漁港海業振興計画＜骨子＞」を策定した。							
【参考】予算事業名	小坪漁港活用・活性化促進事業				【参考】実績額	6,033,084円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	漁港施設維持管理事業				【参考】実績額	602,965円	担当課	経済観光課

具体的施策	④ 創業への支援
-------	----------

KPI	創業支援事業計画に基づき、創業に至った者が中期実施計画期間中累計で50件になっている。							
2017.4～2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
22件	35件							50件

進捗状況評価
A：順調である

補足説明（反省点・問題点、工夫している点）
・創業支援ネットワークとの連携して、4年ぶりに対面での創業スクールの開催や市広報誌で特集記事を掲載するなど、市内での創業の機運づくりに力を入れて取り組んだ。
今後の対応
・今後も継続して、創業支援事業計画に基づき、創業支援ネットワークとの連携を密にし、市内で創業したい人や創業まもない人へのきめ細かな支援や、創業希望者を掘り起こすための機運づくりに向けて、取り組みを推進していく。

主な取り組み

取り組み①	創業支援事業等の推進 (金融機関、商工会等との連携した創業支援事業計画に基づく創業予定者への支援) (新たなビジネスなどの創出への支援に関する取り組み) (金融機関、商工会等との連携した女性の就労支援) (金融機関、商工会等と連携した事業承継の支援)	総合戦略	3-2-①-2 3-3-①-4 3-3-②-2 3-3-②-3
説明	・金融機関や商工会と連携している創業支援ネットワークを活用し、第二創業を含めた創業の準備から、融資、PRの場の提供等、創業から安定的な事業運営に至るまでの助言や支援を行う。 ・女性や若者も活躍できるような新たな産業などの創出に向けた支援策の調査・研究を行う。 ・事業承継を希望する中小企業者に対し、支援を行う。		
2023年度 実施内容	・創業支援ネットワークと連携し、対面、オンデマンドの創業スクールを開催し、143名の参加があった。 ・2023年1月から商工会が創業を考えている人や創業まもない人などへ貸出を始めたキッチンカー「走るチャレンジショップ ドリームキッチン」の運用にあたり、公用地を貸し出すなどの支援を行った。		
【参考】予算事業名	逗子市商工会助成事業	【参考】実績額	30,557,225円
		担当課	経済観光課

具体的施策	⑤ 多様な働き手、柔軟な働き方の支援							
KPI	女性の個人市民税所得割課税額が14%増加している。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
1,122,484千円	1,217,329千円							1,279,632千円 (14%増加)
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
本市は県内でも35歳から39歳までの女性の労働力率が低いため、育児中の女性が通勤の負担が少ない市内において、職場内で子どもを預けながら働くことができる、「女性の新しい働き方」を実現するため、保育的機能（子どもの見守りスタッフを配置した、子どもの見守りスペース）を職場内に有する事業所の開設を目指し、補助金を交付した。								
今後の対応								
引き続き、ライフスタイルに合った働き方のできる環境づくりを検討していく。								

主な取り組み

取り組み①	テレワーク、クラウドソーシング等の推進に関する取り組み				総合戦略	1-3-①-8 3-3-①-5
説明	・テレワークやクラウドソーシング等の推進を図る。					
2023年度 実施内容	・テレワークやクラウドソーシング等の推進を図った。					
【参考】予算事業名	—		【参考】実績額	—	担当課	企画課
取り組み②	女性の就労支援				総合戦略	3-3-①-1
説明	・職場内で子どもを預けながら働くことができる、「女性の新しい働き方」を実現するため、保育的機能を職場内に有する事業所の開設費用を補助する補助金を交付する。					
2023年度 実施内容	・令和5年度に当該補助金を活用して開設した事業所に対し、補助金（ソフト経費）を交付した。 ・逗子市保育的機能を有する事業所開設補助金の補助事業者に関するプロポーザルを行ったが、応募がなかった。					
【参考】予算事業名	関係法人等創出事業		【参考】実績額	10,557,702円	担当課	企画課
取り組み③	就労等に関する情報の提供 （女性の就労支援）、（高齢者の就労支援）				総合戦略	3-3-①-1 3-3-①-2
説明	・公共職業安定所や神奈川県からの就労等に関する情報を提供する。					
2023年度 実施内容	・公共職業安定所や神奈川県からの就労等に関する情報について、公共施設でチラシ等を配架した。					
【参考】予算事業名	—		【参考】実績額	—	担当課	経済観光課

具体的施策	⑥ 観光振興の推進							
KPI	入込観光客数が105万人/年になっている。							
2021年	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
589,042人	852,889人							1,050,000人
進捗状況評価								
B：概ね順調であるとみなせる								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・ コロナ禍が落ち着いたことで、イベントが再開し、入込観光客数の増加に貢献することができた。								
今後の対応								
・ 市民との協働でのまちの魅力向上の取り組みを推進するとともに、国や民間財団等の補助金の活用を検討するなどにより、既存の取り組みの継続や新たな取り組みの創出を図っていく。								

主な取り組み

取り組み①	逗子市観光協会への助成 （県の三浦半島魅力最大化プロジェクト等との連携） （マリンスポーツ等、海でのレジャー体験の推進による地域ブランディング） （秋・冬の海岸の活用） （プロジェクションマッピング海浜投影）				総合戦略	2-2-②-9 2-2-②-12 2-2-②-13 2-2-②-14 3-2-③-6 4-1-①-7
説明	・ 逗子市観光協会と連携し、逗子の身近な自然や歴史・文化の魅力を発見するイベントを市民や市民団体と企画・実施する ・ 逗子市観光協会と連携し、逗子市の認知度と、まちの魅力を高め集客力の向上と地域の活性化を図る ・ 逗子市観光協会への支援を行う。					
2023年度 実施内容	・ 市観光協会や実行委員会と連携し、逗子海岸保全活用事業として、子ども向け体験イベント「わっしょい逗子海岸」や「NIGHT WAVE」などのイベントを実施し、まちの魅力向上と愛着醸成につなげた。 ・ 市観光協会と共催で、4年ぶりに逗子海岸花火大会を開催し、約11万人の来場があり、まちの認知度向上と魅力発信につなげた。					
【参考】予算事業名	観光客誘致事業		【参考】実績額	616,792円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	逗子市観光協会助成事業		【参考】実績額	28,931,000円	担当課	経済観光課

取り組み②	逗子の魅力向上事業の推進 (県の三浦半島魅力最大化プロジェクト等との連携)			総合戦略	2-2-①-6 2-2-②-12 2-2-②-17 3-2-③-6 4-1-⑤-4
説明	・逗子の身近な自然や歴史・文化の魅力を発見するイベントを市民や市民団体と企画・実施する。 ・逗子の特徴を生かし、市民と来訪者が「また訪れたい」「いつか訪れたい」から「住みたい」気持ちになるように、異なる季節や場所にて楽しめる観光をホームページ、案内板及びイベント等を通じて紹介する。				
2023年度 実施内容	・市観光協会を中心とした実行委員会と協働で、魅力発信の情報発信に加えて、逗子旅+プロジェクト事業を行い、自然や歴史・文化を発見するイベントを開催し、5企画307人の参加があった。				
【参考】予算事業名	観光客誘致事業	【参考】実績額	616,792円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	逗子市観光協会助成事業	【参考】実績額	28,931,000円	担当課	経済観光課
取り組み③	観光情報発信の充実 (三浦半島観光連絡協議会を中心とした、三浦半島で連携した取り組みの推進) (フィルム・コミッションに関する取り組み) (「自転車半島宣言」の推進) (インバウンド観光に関する取り組み)			総合戦略	2-2-①-4 2-2-②-10 2-2-②-11 2-2-②-15 3-2-③-7
説明	・多種多様な媒体を活用として、逗子市の認知度と、まちの魅力を高め、集客力の向上と地域の活性化を図る。 ・逗子の特徴を生かし、市民と来訪者が「また訪れたい」「いつか訪れたい」から「住みたい」気持ちになるように、異なる季節や場所にて楽しめる観光をホームページ、案内板及びイベント等を通じて紹介する。 ・県及び近隣各市町と連携し、観光客の誘致を行う。				
2023年度 実施内容	・逗子市観光協会と連携し、まちの認知度と魅力を高めるためにウェブを中心とした情報発信を行なった。 ・三浦半島観光連絡協議会による広域観光キャンペーンとして閑散期に電車広告による魅力発信を行なった。 ・フィルムコミッションとしてまちの魅力の向上につながる撮影に協力支援し、市内で87件の撮影があった。				
【参考】予算事業名	観光客誘致事業	【参考】実績額	616,792円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	逗子市観光協会助成事業	【参考】実績額	28,931,000円	担当課	経済観光課
取り組み④	【再掲】 ふるさと納税に関する取り組み			総合戦略	2-2-②-18 3-2-③-4
説明	・商工会と連携し、ふるさと納税返礼品を推進する活動を支援する。 ・ふるさと納税の電子ポイント返礼品や体験型返礼品を市内事業者と創出し、まちの魅力発信を行う。				
2023年度 実施内容	・商工会と連携し、新たな返礼品の開発や事業者の開拓を行った。 ・通常のモノの返礼品のみならず、コト消費を促進する体験利用券取扱店や電子ポイント返礼品加盟店の増加を図り、商工会と連携して、まちの魅力発信を行なった。				
【参考】予算事業名	逗子市商工会助成事業	【参考】実績額	30,557,225円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	観光客誘致事業	【参考】実績額	616,792円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	逗子市観光協会助成事業	【参考】実績額	28,931,000円	担当課	経済観光課
取り組み⑤	逗子市広報大使による発信			総合戦略	2-2-①-3 4-1-⑤-3
説明	・逗子にゆかりがあり、様々な分野で活躍されている方による、逗子の魅力や情報の発信を行う。				
2023年度 実施内容	各広報大使の活動において、広く魅力を発信した。				
【参考】予算事業名	広聴広報事務費	【参考】実績額	0円	担当課	企画課